1888 年磐梯山水蒸気爆発に関するノート

一(2) 「東国旅行談」に描かれた火山活動の含意―

浜口博之*・植木貞人**

(2012年1月20日受付, 2012年6月5日受理)

Notes on the 1888 Phreatic Explosion at Bandai Volcano
(2) Implication of Volcanic Activity Outlined in the *Togoku Ryokodan*

Hiroyuki Hamaguchi* and Sadato Ueki**

The eruption of the Bandai volcano in 1888 was trigged by the sudden expansion of pent-up steam beneath the old crater called Numano-taira and was accompanied by terrible explosion with rock avalanche, mud flow and wind blasts. A description of similar events at the old crater was found in the historical document "Togoku Ryokodan" (Tales collected by the traveler in the Eastern Provinces), which was published in 1789, about a century before the 1888 phreatic eruption. By referring to the document published in 1789 and Sekiya and Kikuchi (1890), we inferred that the pattern of both eruptions had almost identical characteristics except rock avalanche, suggesting that terrestrial and aqueous disturbances have occurred simultaneously at Numano-taira and its vicinity. We discussed the reason why Sekiya and Kikuchi (1890) did not include the complete description of the historical eruption in their paper.

Key words: Bandai volcano, Phreatic eruption, Crater lake, Wind blast, Historical document

1. はじめに

磐梯山の水蒸気爆発・山体崩壊のメカニズムには,1世紀余をへた今日でも未解明な要因や相反する主張が残されている。その元のもとを正せば「見る」という知覚により収集された主観的要素の残る情報をもとにした科学的判断の構図が残っていることにある。

背景にあるこのような科学的ジレンマ(浜口, 2010) から脱出するには、否定され、あるいは無視され、あるいは排除された事例についても原典に立ち返り、その根拠となること、また、いかなる事実の選択が行われたかを詳しく再検討する必要がある。1888 年磐梯山水蒸気爆発の問題解決は120余年の歴史の方程式を解く必要がある。今回は関谷・菊池 (1888)、Sekiya and Kikuchi (1890) などに引用された天明の頃の噴火活動を素描した「盤大

山之炎」の含意を読みとり、明治の水蒸気爆発と対比することにより、沼ノ平で反復する異常な噴火様式の存在を明らかする。

2. 資料:「東国旅行談」

「東国旅行談」(壽鶴齋, 1787) は5巻からなり, 天明七年 (1785) 又は九年 (1787) に江戸の東都書肆から出版された. 現在, 東京大学史料編纂所図書館や東北大学図書館等にそれぞれ天明七年と天明九年刊行版が所蔵されている。それらの内容を比較した結果, 字体や図版に差異がないことを確認したので, 以下に引用する内容は東北大学図書館 (狩野文庫) に保存されている資料にもとづくものである. この旅行談が出版された江戸中期の時代は名勝地などを図解で紹介した各所図会の出版ブーム

RCPEVE, Graduate School of Sciences, Tohoku University,

6-6 Aoba Aramaki, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 980-8578, Japan.

Corresponding author: Hiroyuki Hamaguchi e-mail: hamaguti@cello.ocn.ne.jp

^{*〒981-3122} 宮城県仙台市泉区加茂 2-6-2

²⁻⁶⁻² Kamo, Izumi-ku, Sendai, Miyagi 982-3122, Japan.
**〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測 センター